

入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日:平成 26 年 6 月 30 日)

開催日及び場所		平成 26 年 5 月 28 日(水曜日) 4 階 第2 会議室			
委員		高木 聡廣 (弁護士) 村山 好行 (NHK熊本放送局副局長)			
審議対象期間		平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日			
審議対象案件		148 件 うち、1者応札案件 30 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0 件			
抽出案件		20 件 (抽出率 14 %) うち、1者応札案件 4 件 (抽出率 13 %) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0 件 (抽出率 0 %)			
抽出案件内訳	工事	一般競争		5 件 うち、1者応札案件 0 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0 件	
		指名競争	公募型指名競争		0 件
			工事希望型競争		0 件
			その他の指名競争		0 件
		随意契約		0 件	
	業務	一般競争		5 件 うち、1者応札案件 1 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0 件	
		指名競争	公募型競争		0 件
			簡易公募型競争		0 件
			その他の指名競争		0 件
		随意契約	公募型プロポーザル		0 件
			簡易公募型プロポーザル		0 件
			標準型プロポーザル		0 件
			その他の随意契約		0 件
	物品・役務等	一般競争		9 件 うち、1者応札案件 3 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0 件	
		指名競争		0 件	
		随意契約(企画競争・公募)		1 件 うち、1者応札案件 0 件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0 件	
		随意契約(その他)		0 件	
	(特記事項)				

各委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答等
	<p>① 福岡県八女市の治山工事は、九州北部豪雨災害の箇所かと思われるが、他の治山工事と比較すると契約金額が高めであるのはなぜか。</p> <p>② 桜島の治山工事の入札について、工事費内訳書を見ると工事の比率にほとんど差がないが、どのようなことが考えられるか。</p> <p>③ 桜島の治山工事の入札について、入札を辞退している業者が多数いるがどのようなことが考えられるか。</p> <p>④ 総合評価落札方式の入札で最低価格で応札したのに落札者とならなかった業者は納得するのか。</p> <p>⑤ 調査基準価格とは何か。</p> <p>⑥ 生産の入札について、誘導伐とは何か。また、この入札については不落や辞退する業者が多いが、予定価格が低すぎたということは考えられないか。</p> <p>⑦ 入札方式発注事業一覧表の特別な競争参加資格欄の「同種業務の実績」や「技術者の配置」とはどういうことか。</p>	<p>① この治山工事の現場は、大分県境の山奥にあり、他の治山工事より現場条件等が厳しいため、経費等が掛かり増しとなり、入札金額も高くなったものと思われる。</p> <p>② 業者の見積りに当たっては、精度の高いソフトが開発されており、ほとんどの業者がこのソフトを使用していると推察されることから、工事費の内訳にはあまり差がないと考えられる。</p> <p>③ 複数件、同日に入札する場合、業者も複数の応札となるが、落札した物件以外は、技術者の配置ができない等の理由で後の入札については辞退する業者が多く見られる状況である。</p> <p>④ 総合評価落札方式では、予定価格の制限の範囲内で、評価値が最も高い者を落札者としている。入札公告の中で説明しており、今までに業者から意見があったことは承知していない。</p> <p>⑤ 契約内容に適合した品質確保を図るために設定した基準価格である。調査基準価格以下で入札があった場合は、この入札額で品質が確保され、履行できるのか調査を実施することとなる。</p> <p>⑥ 誘導伐とは、複層林へ誘導することを目的に行う抜き伐りや小規模伐採で、伐採から植付まで一連の作業であることから、予定価格の積算については、この作業工程を一環して積算している。応札者へは、一環作業の流れや各作業の連携について、丁寧に説明して、不落等の防止に努めたい。</p> <p>⑦ 一者応札の場合、過度な競争参加資格の設定により競争性が保たれていないのではないかと理由で、特別な参加資格を記載することとなっている。この場合は「同種業務の実績」と「技術者の配置」を特別な競争参加資格として記載している。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]</p>	<p>なし</p>	<p>なし</p>